

射撃員(1/2)

1 仕事の内容

射撃員は、護衛艦等に乘組み、砲、ミサイルランチャーの取扱い整備をします。海賊船や工作船に対処する砲や護衛艦の最大の脅威である対艦ミサイルを撃ち落とすミサイルランチャーを取扱う射撃員は、極めて重要な任務を担っています。また、最新護衛艦の勉強をするため、一部にアメリカへの留学の機会もあります。

2 仕事に就くために

教育隊終了後、攻撃要員として約1年間護衛艦等で勤務し、その後、第1術科学校の海士射撃課程(4ヶ月)を経て、護衛艦の砲雷科射撃員として艦艇勤務となります。コンピューターや電子機器を使うことが苦手だと考えているひとでも、第1術科学校の教官が親切丁寧にゆっくりと教えてくれるので心配はいりません。

3 主な勤務地

全国5カ所の総監部(横須賀、呉、佐世保、舞鶴、大湊)等を母港とする艦艇部隊(護衛艦、ミサイル艇等)、第1術科学校等の教育部隊などがあります。



(短SAMランチャーの整備)



(機関銃の訓練射撃)



(76mm速射砲の整備)

射撃員(2/2)

4 取得可能な資格及び免許

1級小型船舶操縦士

5 ライフスタイル(10年間の配置換え等)

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
教育隊(練習員等課程)	護衛艦 (砲雷科射撃員)等	護衛艦 (砲雷科射撃員)等	第1術科学校 (海士射撃課程)	護衛艦 (砲雷科射撃員)等	護衛艦 (砲雷科射撃員)等	教育隊(初任海曹課程)	護衛艦 (砲雷科射撃員)等	護衛艦 (砲雷科射撃員)等	護衛艦 (砲雷科射撃員)等

6 先輩からの一言

海のロマンにあこがれて、海上自衛隊に入隊しました。夜の大海原で見る星空や水平線から浮かんでくる朝日と沈む夕日は、都会では絶対に見られないもので、何度見ても感動します。

射撃員は、海上自衛隊でしかできない仕事なので希望しました。充実した毎日を過ごしています。

カッコいい職種なので、是非、希望してください。部隊で待っています。

(射撃員の一日の流れ)

- 1 停泊中
0700頃 帰艦(出勤)
0800(1200)仕事
1200(1300)昼食、休憩等
1300(1645)仕事
1730頃 上陸(退勤)
- 2 出港中
0600 起床
0615(0700)朝食
0800(1200)訓練等
1200(1300)昼食、休憩等
1300(1700)訓練等
...約3時間3直で艦橋で当直



射 管 員(1/2)

1 仕事の内容

射管員は、護衛艦、掃海艇等に乗組み、射撃指揮装置を操作して、砲弾やミサイルの発射の管制を行い、狙った目標に対して砲弾やミサイルを発射します。また、最新護衛艦に乗り組みとなるため一部にアメリカへの留学の機会もあります。

2 仕事に就くために

教育隊終了後、攻撃要員として約1年間護衛艦等で勤務します。その後、第1術科学校の海士射管課程(4ヶ月)を経て、護衛艦の砲雷科射管員として艦艇勤務となります。

3 主な勤務地

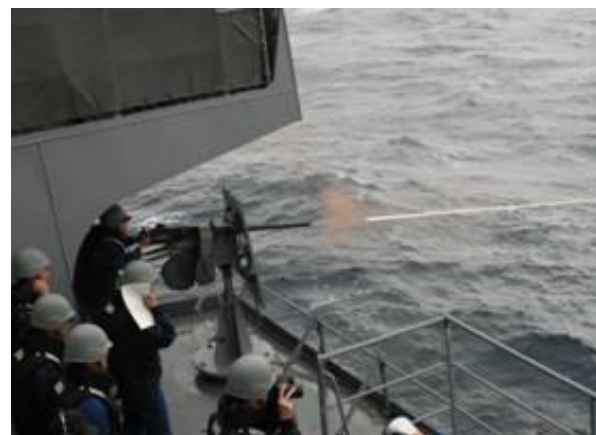
全国5カ所の総監部(横須賀、呉、佐世保、舞鶴、大湊)等を母港とする艦艇部隊(護衛艦、輸送艦、掃海艇、ミサイル艇等)、第1術科学校等の教育部隊などがあります。



(高性能CIWS速射砲の整備)



(最新の射撃指揮装置を装備した護衛艦「ひゅうが」進水式)



(機関銃の訓練射撃)

射 管 員 (2 / 2)

4 取得可能な資格及び免許

1級小型船舶操縦士、乙種危険物取扱責任者、各種自動車免許

5 ライフスタイル(10年間の配置換え等)

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	
教育隊(練習員等課程)	護衛艦 (砲雷科射管員)等		第1術科学校 (海士射管課程)	護衛艦 (砲雷科射管員)等		教育隊(初任海曹課程)		護衛艦 (砲雷科射管員)等		

6 先輩からの一言

海上自衛隊でしかできない職種ということで希望しました。

射撃訓練等苦しいこともありますが、充実した毎日を過ごしています。

カッコいい職種なので、是非、希望してください。部隊で待っています。

(射管員の一日の流れ)

- 1 停泊中
0700頃 帰艦(出勤)
0800(1200)仕事
1200(1300)昼食、休憩等
1300(1645)仕事
1730頃 上陸(退勤)
- 2 出港中
0600 起床
0615(0700)朝食
0800(1200)訓練等
1200(1300)昼食、休憩等
1300(1700)訓練等
...約3時間3直で艦橋で当直



運用員(1/2)

1 仕事の内容

運用員は、主として艦船での洋上作業(洋上補給等)、船体の保存手入れ、結索(ロープワーク)、防火・防水作業に関する業務に従事します。海を愛し、艦船での洋上作業に興味のある人なら誰でもできる仕事です。

2 仕事に就くために

教育隊終了後、攻撃要員として約1年間護衛艦等で勤務。その後、第1術科学校の海士運用課程(約5ヶ月)を経て、護衛艦の砲雷科運用員として艦艇勤務となります。

3 主な勤務地

運用員の勤務地は全国にあります。(航空部隊を除く。)

(1) 陸上部隊: 第1術科学校、各教育隊、港務隊

(2) 艦艇部隊: 護衛艦、練習艦、補給艦、敷設艦、輸送艦、掃海母艦、砕氷艦、海洋観測艦、音響測定艦、潜水艦救難艦、訓練支援艦、特務艦、試験艦



(洋上給油作業)



(サンドレッドを整理中)



(クレーン作業)

運用員(2/2)

4 取得可能な資格及び免許

1級小型船舶操縦士、玉掛け技能講習、クレーン操縦士、フォークリフト等

(運用員の一日の流れ)

5 ライフスタイル(10年間の配置換え等)

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	
教育隊(練習員等課程)	護衛艦等 (砲雷科運用員)	第1術科学校 (海士運用課程)	護衛艦等 (砲雷科運用員)			教育隊(初任海曹課程)	護衛艦等 (砲雷科運用員)			

- 停泊中
0745 帰艦(出勤)
0800(1200)仕事
1200(1300)昼食、休憩等
1300(1645)仕事
1730以降 上陸(退勤)
- 出港中
0600 起床
0615(0700)朝食
0800(1200)訓練等
1200(1300)昼食、休憩等
1300(1700)訓練等
…約3時間3直で艦橋で当直

6 先輩からの一言



「運用」という職種に進んだことで、補給艦に乗り組み、インド洋での補給支援活動の現場で活躍することができました。
「運用」は、女性にとってもやりがいのある職種ですよ。

魚雷員(1/2)

1 仕事の内容

魚雷員は、護衛艦に乗り組み、潜水艦を攻撃するための魚雷及び発射装置の操作・整備をする仕事を主任務としています。また、陸上勤務として、各総監部地区にある弾薬整備補給所で魚雷の整備・調整も行っています。なお、潜水艦でも勤務できます。

2 仕事に就くために

教育隊終了後、攻撃要員として約2～3年間護衛艦等で勤務。その後、第1術科学校の海士魚雷課程(3か月)を経て、護衛艦の砲雷科魚雷員として魚雷及び発射装置の操作・整備等を行います。

3 主な勤務地

全国5カ所の総監部(横須賀、佐世保、呉、舞鶴、大湊)を母港とする護衛艦、弾薬整備補給所、第1術科学校等の教育部隊などがあります。



(アスロック発射)



(潜水艦でも勤務できる)



(短魚雷発射管)

魚雷員(2/2)

4 取得可能な資格及び免許 1級小型船舶操縦士

5 ライフスタイル(10年間の配置換え等)

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
教育隊(練習員等課程)	護衛艦等 (砲雷科魚雷員)		第1術科学校 (海士魚雷課程)	護衛艦等 (砲雷科魚雷員)		教育隊(初任海曹課程)	護衛艦等 (砲雷科魚雷員)		

ある一日の魚雷員の生活

1 停泊中

0630頃 帰艦(出勤)
0745~1200 午前の仕事
1200~1300 昼食・昼休み
1300~1645 午後の仕事
1730頃 上陸(外出)

2 航海中(3交代で約3時間、 ソナー室で当直)

0600 起床
0615~0700 朝食
0800~1200 午前中の訓練等
1200~1300 昼食・休憩
1300~1700 午後訓練等
1700~1900 夕食・入浴

6 先輩からの一言

魚雷員は、海中に潜む潜水艦を攻撃する魚雷及びランチャーを整備しています。
また、艦橋で見張り勤務をしていますが、太平洋の夕日と満天の星が印象的です。



水 測 員 (1 / 2)

1 仕事の内容

水測員は、海中に潜む潜水艦を捜し出すことを主任務としています。そのため、高性能音波探知機を使って海中へ音を出し、潜水艦からの反響音により潜水艦を探知したり、潜水艦の出す音を聴音機によって探知する操作を行っています。また、探知した潜水艦を攻撃するための武器を作動させるコンピュータの操作も行います。なお、潜水艦でも勤務できます。

2 仕事に就くために

教育隊終了後、攻撃要員として約2～3年間護衛艦等で勤務。その後、第1術科学校の海士水測課程(4か月)を経て、護衛艦等の潜水艦捜索・攻撃武器の操作・整備員として艦艇勤務を行います。

3 主な勤務地

全国5カ所の総監部(横須賀、佐世保、呉、舞鶴、大湊)を母港とする護衛艦等、第1術科学校等の教育部隊などがあります。



(ソーナー室で勤務中)



(ハイライン訓練)



(潜水艦でも勤務できる)

水 測 員 (2 / 2)

4 取得可能な資格及び免許
1級小型船舶操縦士

5 ライフスタイル(10年間の配置換え等)

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
教育隊(練習員等課程)	護衛艦等 (砲雷科水測員)	第1術科学校 (海士水測課程)	護衛艦等 (砲雷科水測員)	護衛艦等 (砲雷科水測員)	護衛艦等 (砲雷科水測員)	教育隊(初任海曹課程)	護衛艦等 (砲雷科水測員)	護衛艦等 (砲雷科水測員)	護衛艦等 (砲雷科水測員)

ある一日の水測員の生活

- 停泊中
 - 0630頃 帰艦(出勤)
 - 0745~1200 午前の仕事
 - 1200~1300 昼食・昼休み
 - 1300~1645 午後の仕事
 - 1730頃 上陸(外出)
- 航海中(3交代で約3時間、ソーナー室で当直)
 - 0600 起床
 - 0615~0700 朝食
 - 0800~1200 午前中の訓練等
 - 1200~1300 昼食・休憩
 - 1300~1700 午後の訓練等
 - 1700~1900 夕食・入浴

6 先輩からの一言

水測員は、海中に潜む潜水艦を捜し出す重要な仕事をしています。

また、訓練中にイルカや鯨の鳴き声を聞くことがあり、とてもロマンのある仕事でもあります。



掃海機雷員(1/2)

1 仕事の内容

掃海機雷員は、掃海艦(艇)、掃海管制艇に乗組み、水路等に敷設された機雷の掃海作業や弾薬整備補給所での機雷の整備を行います。掃海艦(艇)、掃海管制艇は、敷設された敵の機雷を発見、処分し、味方の艦船の航行安全を図ることを、掃海母艦は補給用掃海具の保守整備、機雷整備及び機雷敷設等を主任務として日夜訓練に励んでいます。

弾薬整備補給所では、各種器材を使用して機雷の整備を行い、施設も充実しています。

2 仕事に就くために

教育隊終了後、掃海機雷要員として約1年間掃海艇等で勤務。その後、第1術科学校の海士掃海機雷課程(5ヶ月)を経て、掃海艦(艇)、掃海管制艇及び掃海母艦の掃海科掃海員として艦艇勤務又は掃海母艦及び弾薬整備補給所の機雷整備員となります。

3 主な勤務地

全国5カ所の総監部(横須賀、呉、佐世保、舞鶴、大湊)等及び基地隊(函館、神戸、下関、沖縄)を母港とする艦艇部隊(掃海母艦、掃海艇等)、第1術科学校等の教育部隊などがあります。



ペルシャ湾への海自派遣部隊



ペルシャ湾での機雷処分の瞬間



新型掃海艇進水

掃海機雷員(2/2)

4 取得可能な資格及び免許

1級小型船舶免許、フォークリフト、乙種危険物取扱責任者、玉掛け、甲(乙)種火薬類取扱責任者、ホイストクレーン

5 ライフスタイル(10年間の配置換え等)

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
教育隊(練習員等課程)	掃海艇(掃海科員) 弾薬整備補給所 (機雷整備科)等	第1術科学校(海士掃海課程)		掃海艇(掃海科員) 弾薬整備補給所 (機雷整備科)等		教育隊(初任海曹課程)		掃海艇(掃海科員) 弾薬整備補給所 (機雷整備科)等	

(掃海機雷員の一日の流れ)

- 1 停泊中
0745 帰艦(出勤)
0800(1200)仕事
1200(1300)昼食、休憩等
1300(1645)仕事
1730頃 上陸(退勤)
- 2 出港中
0600 起床
0615(0700)朝食
0800(1200)訓練等
1200(1300)昼食、休憩等
1300(1700)訓練等
...約3時間3直で艦橋で当直

6 先輩からの一言



明るく、強い連帯感を有する仲間ができる、やりがいのある仕事です。特に掃海訓練終了後の達成感は最高です。

